



福祉と住環境を考える

ふくてっく

559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC・ITM 棟 11F エイブレス L
 TEL 06-6614-6800
 mail@fukutech.sakura.ne.jp http://fukutech.sakura.ne.jp/

2019 年 6 月
 第 96 号

特定非営利活動法人

ふくてっく

4 月学習会

インクルーシヴ防災と地域の助け合い ～すべての人に配慮した防災対策～

(社福) AJU 自立の家 所長 水谷 真氏

私は AJU 自立の家で、障害者が障害や社会のせいにして閉じこもるのではなく、自分たちの力で社会に出よう！と呼びかけています。ただ声を出すだけではなく、どうすれば実現できるかを、専門家とともに考え、取り組んでいるのです。

東日本大震災では発災 2 日目から現地に入り、被災障害者支援に特化した活動を展開してきました。今日は、その体験から①過去の大災害において要配慮者がどう置かれてきたか、いくつかの事例を紹介し、②災害時要支援者支援に関する先進例を検証しながら、③インクルーシヴ防災なるものを考えてゆきたいと思います。

ご承知のように、東日本大震災では阪神・淡路大震災を上回る被害が発生しました。特にいわゆる震災関連死が多いことが特徴的です。また、障害者や高齢者などの要支援者の犠牲率が極めて高いことも指摘されています。

第一陣スタッフからの報告は「障害者がいない！」でした。どこに障害者がいるかわからない（情報収集の困難さ）、そして障害のある人にとって避難所生活は極めて困難であり、そうしたために避難所では障害者が見当たらないのです。居場所のない障害者は救援物資の配布からも取り残されていました。経管栄養摂取や痰吸引など、医療的ケアには、必要な装備や薬品等は勿論ですが、廻りの理解が欠かせません。一人ひとり、様々な課題があり、その対応も一様ではありません。私たちは、その一つひとつを聴き取り、必要な対応に取り組みながら、すべての人に配慮した防災対策を考え続けていました。

災害のたびに障害者が直面する課題を整理すると次のようになります。

- ①一般避難所では障害者が避難生活を送ることが不可能。
- ②避難所の運営側が障害特性に無知、無理解。
- ③障害者だけを特別扱いできない、みんな困っているのだという意識。わがままを言うな、迷惑だという声。
- ④多様なニーズへの対応拒否。
- ⑤周囲の理解が得られず、一度非難した避難所を出る。
- ⑥トイレに行けない。横になれない。
- ⑦周囲への迷惑を心配して避難所生活を断念する。

以上のような課題を解きほぐしてゆくことが求められています。防災における合理的配慮の徹底が大切です。



画：中北 清

左下：岩屋

右上：見山の郷



国連・障害者権利条約（2006 年）では①直接的差別、②間接的差別、そして③合理的配慮をしないことを禁じています。障害者は特別な配慮を求めているわけではありません。障害のない人と同じように生活したいだけです。必要な配慮を行うのは社会的責務なのです。

すべての人に配慮した防災対策として、指定避難所の解決課題を要約すると

- ①バリアフリー化
- ②プライバシーの保護（間仕切り等の整備）
- ③情報保障（文字情報に限らない多様な情報提供）
- ④障害特性への理解（多様、潜在的障害への気づき）

以上の 4 点に尽きると思われます。

いくつかの先進例に学ぶところもあります。

2007 年の中越沖地震の際には新潟県柏崎市において福祉避難所解説のモデルが提起されています。

北海道浦河町・ペてるの家では障害特性に合わせた支援を実施するとともに、むしろ障害がある“弱さ”を逆手にとって防災のモデルを構築することに役場が舞台づくりを担いつつ取り組むといったことが行われています。

また、兵庫県佐用町では、中山間地における助け合いの仕組みづくりが進められているところです。

今、私たちは都市部におけるインクルーシヴ防災を追求しています。公平・大量・平等といった概念では、こぼれ落ちてしまう人たちをいかに支えてゆくか。バリアフリーなつくりだけでは不十分なのです。ポイントは、つながりと発信力。障害者が“守られる”存在を超えて、自分たちで命を守り、当事者として参加して声を発し計画に参加してゆくことが欠かせません。そのためには、①防災名簿の作成と適切な運用、②安否確認や初期消火・救出救護訓練等の初動体制、そして何よりも③日頃の関係性づくりが重要です。

(記：中北 清)

こむねっと部会 ～悩ましい第三者評価の基準～

標準的實施方法??

福祉サービスの現場では利用者一人ひとりの特性に即して個別支援計画が重視されている。その一方で福祉サービス第三者評価においては、個別支援計画とあわせて標準的実施方法の確立が求められているが、これが現場の理解を得ることが難しい。評価基準の趣旨によれば、それは支援の画一化を求めるものではなく、利用者個々の特性に応じた個別支援は是としつつ、支援者による支援のパラツキがあってはならないと説いている。すなわち、標準的実施方法と個別支援計画は支援の両輪をなすものという位置づけだ。問題は、これを文書として確立して運用しているかとまで問うているところだが、多数の利用者に共通の標準的実施方法なるものが果たして想定できるものだろうか。

事業所には、“理念”とその上に“基本方針”があるが基本方針と個別支援計画の間にさらに“標準”を置く余地があるというのだろうか。

また、利用者也常に一定ではない。例えば排泄支援における声掛けは、利用者の心的状況、環境等々により多様な対応が求められるだろう。そこに求められるのは標準的実施方法に縛られない支援者の人間力であるはずだ。

さらに言えば、支援者による支援の差異があってもいいというけれども、例えば子育てにおいて父親と母親の役割は同じではない。サザエさんの家庭ではタラちゃんには祖父母、両親、叔父、叔母そして猫、ご近所の人たち、それぞれが違うキャラで接するなかで豊かに育っている。

人は、自身のアセスメントを有しない他人と接する機会を多く持つことがすなわち“地域で生きる”ことであり、豊かな人生もそこにある。真に、利用者の尊厳をいうならば、標準の実施方法に拘るのはいかなるものか。

PDCA は万能か？

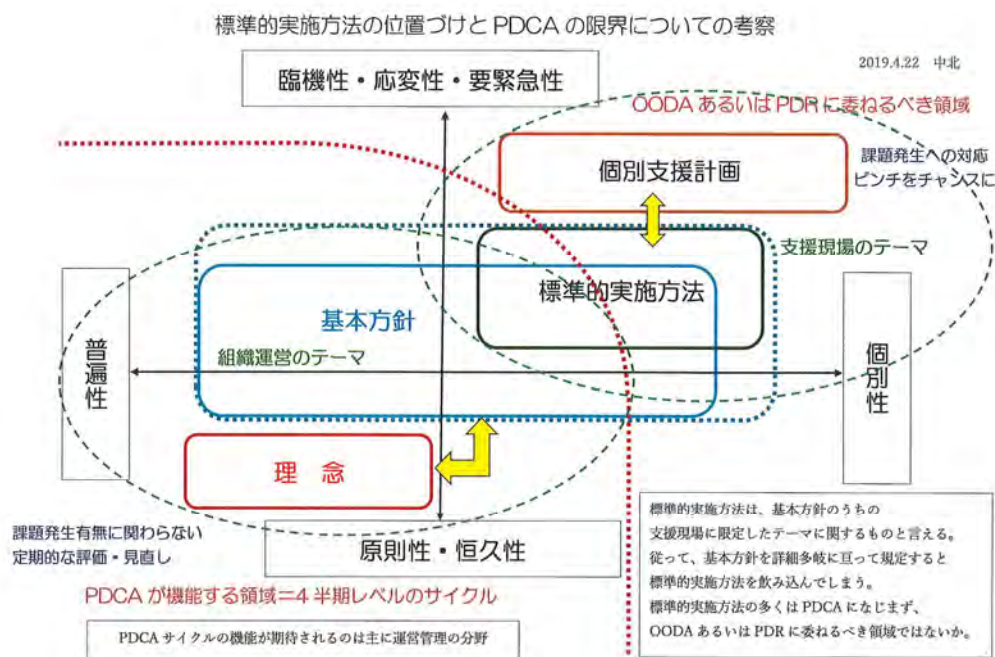
もう一つ、第三者評価が固執しているテーマが PDCA である。Plan（計画する）Do（実施する）Check（評価する）Act（見直す）、このサイクルを繰り返すことによって、支援の質が向上してゆくという趣旨だ。確かに、福祉事業所の多くでは事業計画そのものが未熟であることは論外としても、その通りに実施されているか、目標は達成されたのかを予め定められた評価基準によって“評価”していることが徹底していない。そもそも計画そのものが評価できる目標値を設定していないことも多い。評価がなければ見直しもなく、なんとなく計画が立てられ実施されていくという状況では改善や進歩は望むべくもない。そこで PDCA サイクルの重要性が指摘されているところである。

しかしながら PDCA にもいくつかの課題がありそうだ。P はトップダウンによる現場を踏まえない無理な計画になっていないか？ D において無理な帳尻合わせや計画外業務の軽視はないか？ C は決められた指標さえ達成していればよしとしていないか？ A については施策レベルの改善に矮小化していないか？といった懸念がある。PDCA サイクルは機能しています、というのもそのレベルは様々だということだ。

次に、PDCA サイクルは、その一巡に一定の期間を要するという問題がある。少なくとも四半期、通常は1年のサイクルで巡回してゆく。しかしながら、福祉現場では多くの課題が同時多発的・重層的に進行しているのであって、スピーディな意思決定が求められる。機械的な評価と判定というよりも、人間的洞察による“仮説”が求められる場面も多いはずだ。

以上のように、福祉事業の質の改善において PDCA にも限界がある。どうすれば、福祉サービスの質を改善する仕組みを創ることができるだろうか。悩ましい！

(記：中北 清)



東大阪部会 ～ 現地訪問調査の道すがら～

私たちが活動している東大阪市。訪問調査に出向く途中、色々な風景に遭遇します。



▲こんなところにこいのぼり！



▲工事現場の仮囲い、爽やかな風景写真



▲JR 長瀬駅近くにあった駄菓子屋さんと看板



▲JR 俊徳道駅
トイレのハンドドライヤーは dyson



▲東大阪はヒーローがいっぱい



▲「福祉農園」の看板
主に障がい者の人達の農作業用に提供されている農園らしい



▲布施公園で見かけた
災害時給水所の看板



▲ラグビー東大阪の商店街！？



▲近鉄瓢箪山駅付近で見つけた
流木を使っのアート作品の
アトリエ&ギャラリー (多分)

◀ログハウス風のたばこ屋さん
今は自販機で販売ですが
ソフトクリームのような植木が素敵

▼草ぼうぼうの公園
遊具に乗るのも水飲み場に行くのも
草をかき分けて行かないと・・・



つどい

「院内学級での自由木工授業」

1 月 30 日(水) 都島区の総合医療センター院内学級でミニキャンドルを使った木工授業をしました。木工授業は今年で 4 年連続で行っており、少しずつ段取りもわかり、ふくてっくから 10 名、ボランティア団体「あそぼっくる」から学生 1 名の参加、計 11 名で取組みました。12 時から教室での準備作業を始め、車椅子や点滴をしている子供達を考慮して広めの作業場を確保し、2 教室に小学・中学混合で各室 10 名、11 名です。今回は教室に来られない生徒 2 名のためネット中継で同時に木工を楽しんでもらうという試みもあり、計 23 名の子供達に楽しんで頂きました。

2 教室でそれぞれ個性のある作品ができ、過去の木工授業での自由木工と違いミニキャンドルを中心に添える事で作品のイメージ、構成がしやすかったのかと思われます。自然木と照明、カラフルなデコレーションの絶妙なコラボは最高でした。細かい作業になると「これくらいの丸いの無い？ 半分のサイズは無い？」と指で示したり、「穴を開けて、短く切って！」と要望は絶えません。

ネット中継の子供達も先生と一緒に作品に取組み、教室から届く映像を見ながら「その材料がほしい、こんな形の木(葉)は無い？」と注文があると先生が届けるというサポート体制でスムーズに進められました。

授業終了後、先生からは「あの子がこんな出来るとは。この子が笑って楽しんでたので、ちょっとビックリしました」といつも聞く言葉、子供達の新たな一面の気づきもありました。病室に戻った子供達は、家族に「今日、工作でこんな作ってん、楽しかったで〜今度見てな〜」と伝えていた様です。

オリジナル作品を家族に見せたいほど満足し、楽しんでくれたことが何よりうれしく、サポートした 11 名も満足な授業となりました。(小川 忠雄)



「てんかん啓発イベント【パープルデー大阪】」

3 月 24 日(日) 今年初めての木工で長居公園(屋外)にて自由木工を開催しました。ふくてっくは 12 名の参加で万全の体制で臨みましたが、主催者側の準備が少し手間取り 11 時からスタートはゆっくり始まりました。

“てんかん”啓発イベントの一環として、てんかんをもっと知ってもらおう！てんかんへの偏見をなくそう！をテーマに植物園館内ではいろいろなブースが出展され、催されていました。公園では植物を見学、お弁当を持って行楽の家族などが徐々に増え、「うわっ！かわいい、こんな出来るの？」「すごい！良いね、木の雰囲気が良いわ」と興味を示し、大人も子供も多く参加して工作を楽しんで頂きました。参加された子供の中にはてんかんを持った子供達もいましたが、外見からはわか

らない疾病という事もあり、普通に笑顔で楽しみ、元気に工作を楽しんでいる姿を見ると無用な偏見等無くなればと強く思いました。

今回は用意した木工サンプルを参考に作る大人や子供達も多く、サンプルよりかわいい、上手な作品が出来上がり、笑顔と共に写真撮影にも協力して頂きました。

約 5 時間の活動でしたが、結果多くの方にもものづくりに参加いただき、最後は材料が足らなくなるほどの盛況となりました。参加者からは「今度はいつやるの？」「毎年やってるの？」と次回の開催を望む声をかけられる場面もありました。

後日、主催者からは「是非、来年も参加検討お願いします」と嬉しい声をかけて頂きました。(小川 忠雄)



つどい

「木工材料調達とお花見」

4 月 13 日（土）春の花見を兼ねて生駒いいもり里山に材料調達に行きました。会員 7 名参加、里山の西川夫婦、松口さんも参加してワイワイ花見が出来ました。材料調達はいつもの作業なので手際よく木材を用意出来ました。

自然の中で山の恵みを肌で感じ、手作りのあぜ道を木材を担ぎ、一輪車を押しながら丸太を運ぶ人、電動工具を準備し、慣れた手つきで輪切りを作り出す人、里山の花々を満喫する人、里山の風景を絵画にする人、本当に自然は最高です。

ふくてっくが自然木を活用してものづくりが出来ているのも里山の協力があればこそ。本当に有難いことで、感謝、感謝です。

里山のお昼は早く、12 時前から「お昼や、花見や！」と早々に作業を終え、みんなで持ち寄った食べ物とお酒で楽しく宴が始まりました。昔話からこれからの里山の話まで、真面目な話を交えながら、これからもふくてっくへの協力をお願いして下山しました。

西川夫婦、松口さん、そして里山を管理されているみなさん、本当に有難うございました。（小川 忠雄）



「5 時間共生・共走リレーマラソン&自由木工体験」

5 月 26 日（日）鶴見緑地で開催され、毎年参加している障がい者と共に走る「リレーマラソン」と「木工体験」に参加しました。今年も助っ人ランナー清水さん竹内さんと共に、総勢 14 名で参加しました。今回も子どもたちと同じぐらい楽しめました。春岡 須磨子

いつもの顔。昨年も、その前も来てくれた子ども。笑顔が素敵です。

清水 麗子

今年の木工体験は昨年より御参加いただいた方が増え、お子様方がこれまで以上に自分の想像力を発揮できる場になっていると思います。私はランナーとしても参加し、チームとしてさらに団結できた一日でした。寺岡 春恵

5 年目で教える側もグレードアップしていると子どもたちにも言われ、大変うれしかった。続けることが大切。島村 英子



暑い暑いと数日前から言われやっぱり暑かった！でも子どもたちのパワーの方がすごかった。曾我部 千鶴美

やっぱり、楽しい!! 子供が喜び、のこぎりでカットし、自分の作品を作る体験は最高。ふくてっくの原点はここや!! 小川 忠雄



今日はなんとか走れて良かったです。清水 正勝



マラソン部門！楽しくは走らせていただきました。走ったあとのビールはうまい。竹内 進岳

木工体験参加者 83 人、リレーマラソン 49+3 周、暑いけどガンバリました。立溝 和行

ことしも暑い暑い鶴見緑地での一日でした。昨年参加費 1 人 100 円での木工体験でしたが、昨年の 50 人に対して今年は 83 人の参加。大変盛況でうれしく思いました。和泉 秀子

しあわせの村 と すべらんうどん

しあわせの村（神戸市）では、年齢・性別・文化・国籍や民族・身体状況など、人がもつ個性や違いを越えて、お互いに多様性を認め合い、すべての人が持てる力を発揮し支えあう「ユニバーサル社会」の実現に向け、ユニバーサルデザインの推進に取り組んでいます。その一環として「こうべユニバーサルデザインフェア」が開催されています。UDに取り組んでいる企業や地域団体や学校などが、その成果を発表し、交流の場になっています。誰もが気軽にご参加できるイベントで、ショーや参加型イベントなど楽しい企画が満載です。



3月17日（日）神戸ユニバーサルデザインフェアでふくてっくの皆様に今年もボランティアとして「すべらんうどん」の販売に参加していただいた。ありがたい。メニューはきつねうどんのみ。少し雨模様で心配したが約300食完売。ほっとした。

見えない私でさえ横で見ている私はただただ皆さんのチームワークのよさに感心。肌で感じる。ボランティアが板についている。かつてかまぼこ屋に勤めていた私も、かまぼこよりうま板についていると感じた。

依頼する側の私としては来年もお願いしたい。感謝。（岡 道信）

神戸ユニバーサルデザインフェアに参加していつも思い出される事があります。何年前でしょうか、すべらんうどんが神戸ユニバーサルデザイン賞を受賞し、長田区の鉄人28号広場での授賞式に参加した時、広場一杯に集まった人々に前に岡さんが言った言葉「沢山の人の助けを借りて、すべらんうどんが、開発されました（中略）が、私の一番望むことは、全ての方々に美味しく召し上がって頂く事です」。

苦労話もしたかったでしょうが、美味しいから食べてくださいとは・・・（その後、岡さんとお母さんの共同で開発した「すべらんうどん物語」は、神戸市の小学校の副読本に採用されています）

私は、しあわせの村で皆さんに安くて美味しいうどんを提供するため、花粉症と闘いながらひたすら湯がいていました。（すべらんうどんが、受賞作というのを忘れて）（稲住 泰広）

大人の文化祭!! 誰が?何を?と言わなくても、役割をわきまえ取りかかる。開店前にみんなで「すべらんうどん」を食べ、望むは300食。完売!! 素晴らしいふくてっくのチームワーク。最高、美味しいすべらんうどん。

（小川 忠雄）



振り返れば、小雪混じりの寒い日や、暖かな日や、雨の日もありました。完売して早々に店じまいする年もあれば、残食材を参加者全員で分けて持ち帰ったことも! ここ数年は、皆で知恵を出し合い、役割分担を決めてスムーズに! いつも思うのですが、ふくてっくメンバーはどんな些細なことにも全力で取り組む素敵なチームだなと…。（曾我部 千鶴美）



開店後すぐに満席です



↑いらしゃい!! 看板娘がお客さまを迎えます
↓開店前に試食を頂きつつ…集合写真



回を重ねるごとにプロ化していくすべらんうどん販売の筈でしたが、なかなか完璧にはなりません。今回、私にとって一番のヒヤヒヤは付箋が足りなくなりました。注文を受けると付箋に番号と注文数を書くのですが、予想以上にお客様が多かった。春岡さん手持ちの付箋に助けられ、なんとか乗り切りました。来年は付箋をどっさり持参で張り切ります。（和泉 秀子）

日頃、なかなか協力できずにいる私にとってこの場合は、久しぶりに皆さんに会える事とお手伝いできる喜びで、毎年楽しみにしています。私の役割は、廻ってきた「うどん」と「あげ」が入ったお椀にすばやくネギ、天かす、かまぼこを入れる事ですが、今では「二刀流」でさばけるようになりました。皆さんの元気なかけ声はもちろんですが、岡さんの大きな呼び込みの声で昨年よりさらにたくさんのお客さんを引き寄せました。素晴らしいチームワークだったと思います。（松田 美代子）

今年もふくてっくはUDうどんの「すべらんうどん」の販売を行いました。ふくてっく会員9名+1名での参加です。小雨まじりの中でのスタートでしたが、今回で6回目、大きなお揚げの入った美味しいすべらんうどん。認知度もばっちり、チームワークもばっちり!! 温かいものを求めるお客さんで賑わい、メンバーもフル回転!! 開店予定時刻を待たずして今年も完売です。（春岡 須磨子）



完売後の空いた時間に最新の車いすを試乗

『3年目の篠山マラソン』

立溝 和行

1年目の篠山マラソンは21キロで2時間を切り単純計算でもサブ4(4時間以内で走る)が初マラソンで達成かと思ひながら走ってましたが25キロ付近でふくらはぎがなにやらピクピクとあれ?おかしいな?そこから先は両足がつって走るところか歩くのも大変に。30キロの関門を超えて沿道の人達がゴール5時間切りはキロ4分前半でない無理やで〜と親切にお声掛けしてくれます。35キロの関門に引っ掛かりあえなく撃沈、バスに揺られてゴール付近で下車、完走メダルを首からかけたランナーとすれ違います。なんと対照的なランナー、心も体もボロボロに帰宅します



2年目の篠山マラソンはネガティブスピリット(前半スローペース後半からハイペース)でゴールを目指します。5キロを過ぎると救急車のサイレンの音が鳴り響いています。なんと25℃を過ぎる暑さでランナー数人が倒れているそうです。それでも必死に走ります。25キロ過ぎでここからが本番です。するとふくらはぎがなにやらピクピクとあれ?またかいな!去年よりはましな感じですが手先が痺れてきました。35キロまでは頑張っている!!と思ひましたが30キロの関門に引っ掛かりバスに揺られてゴール付近で下車。完走メダルを首からかけたランナーに・・・って去年と同じやん!?心も体もボロボロに帰宅します



3年目の篠山マラソンはご近所の鎌田さんと並走し25キロでセルフ給水・サブリチャージ、例年はここから足がつる。ところが30キロを過ぎてもふくらはぎはつきません。よしゴールに向かって一直線!!サブ4.5で完走です。不思議なもので身体にもダメージが有りません。

最後に、小川さん鎌田さん出口さん3年間お付き合い頂き本当に有難うございました。来年は篠山マラソンには参加しません。

会員コラム

『苔玉とテラリウム』

田代 加奈

年齢を重ねていくと親と同じように緑が好きになり毎日の成長がとても楽しみになってまいりました。それでも俄かな知識しか持ち合わせておらず、ネット検索を手掛かりに育ててのですが、枝を切りすぎたり、肥料が足らなかつたり、なかなか園芸はうまくいきません。おまけに日中は皆が仕事で、下手すると水をあげるのすら忘れてしまう事もしばしばで、なかなか思うようには育ってくれません。



そんな時に建築士会のセミナーでテラリウム作り体験をしました。手軽に作れることに興味が湧き、合わせて苔玉作りにも挑戦するようになりました。庭が無くとも卓上で育てられるし、蓋やラップをかければ乾燥もゆっくりとなり、水やりもさほど神経質にならずとも大丈夫です。そんな手軽な存在なのに目や精神にととても優しいので私には良い事尽くめです。

また園芸が大好きだった父がそれを見ることでその感覚を思い出してくれるのではないかと思います。一緒に作りました。足も悪くなり自由に庭いじりも出来ないので意欲も無くなる。でも、卓上でできる小さな庭いじりは昔の記憶を呼び戻します。

花見だって出来るのです。



材料はホームセンター等で土を購入する他は100均などで小さな植物を日々購入し、大きな鉢に植えて出番待ちをさせます。苔は今時なので山に取りに行かずともネットで購入もできます。乾燥して水で復活する便利なものもあります。飽き性の私にはこの短時間で製作できるのがぴったり。おかげで職場は結構緑だらけになりました。水遣りは霧吹きでシュッシュッと簡単、いろんなバリエーションが楽しめるのでこの小さな庭造りは当面続きそうです!

「ある日のお客様との会話 十八」

秋岡 安

客.. 十月から消費税増税されるよね。

私.. 軽減税率について簡単に教えて。

客.. 十月一日から消費税率が8%から10%へ引き上げられると同時に軽減税率制度が実施されます。標準税率は10%なんです。

私.. 軽減税率は10%なんです。一部の品目には8%のまま据え置くというものです。

客.. 一部は品目って、食料品とか?

私.. そうです。対象となる品目は、酒類・外食を除く食料品と週二回以上発行される新聞(定期購読契約に基づくもの)です。

客.. 食料品でもややこしいんですよ。

私.. 食料品は詳しくいいますと、食品表示法に規定する食品をいいます。ただし酒類は除きます。

客.. 酒は10%になるんか・・・残念!

私.. ところで、どんな場合が外食になるの?

客.. 政府広報オンラインで事例を載せています。たとえば、牛丼屋・ハンバーガー店での店内飲食は、外食にあたり10%です。テイクアウトは、単に飲食料品を販売するものであるため、外食にはあたり8%となります。

客.. 他に?

私.. コンビニの弁当・惣菜の販売ですね。イートインコーナーがある場合でも、持ち帰りとして販売される場合は8%となります。

客.. イートインコーナーで飲食する前提で販売される場合は10%ですね。そば屋の出前やピザ屋の宅配は8%です。

客.. なんかややこしいね。どう区別するん?

私.. 国税局のホームページでもQ&Aを載せています。読み込む必要がありますね。

客.. 増税が近づかないと気にしないよね。ところで本当に増税するの?

私.. そうですよ、一番はそこですよ。来月中には分かるんじゃないでしょうか?



■ 平成 31 年 1 月以降 学習会

- 1月 親睦会 (学習会なし)
- 2月 「高齢化時代の新聞の役割」
講師：小田原 健
毎日新聞社 経営企画室長
- 3月 「民法改正について知っておきたいこと」
講師：中嶋 士朗氏
つかもと駅前相談室 行政書士
- 4月 「インクシーブル防災と地域の助け合い
— すべての人に配慮した防災対策」
講師：水谷 真氏
社福AJU自立の家 所長
- 5月 「台湾に学ぶ地域福祉のまちづくり」
講師：松永 貴美氏
大阪市住之江区役所
保健福祉課(子育て・地域福祉)担当係長
- 6月 「特別養護老人ホームを
知っていただくために」
講師：大内 啓史氏
社福ほがらか会 事務長



■ 令和元年 定例会・学習会予定

- 7月6日(土) 13:30~17:00 頃
会 場：富田林じないまち交流館
富田林寺内町の説明と見学
- 8月3日(土) 13:30~17:00 頃
会 場：大阪市立社会福祉センター
総会

ことば・コトバ

【 アドレスホッパー 】

アドレスは住所や居所のこと、ホッパー (hopper) は「同じような場所を次々に移動する人」。アドレスホッパーとは、家を持たないで暮らしている人を意味する和製英語。

仕事もあり、納税もしている。寝るところは、シェアハウスやゲストハウス、カプセルホテル、宿泊できるスパなど「新たなライフスタイル」。ミニマリストの究極とも言える。

アドレスホッパーの名付け親である市橋正太郎氏によれば、「アドレスホッピング」という居住スタイルは、「固定の住居を持たずに転々とする超多拠点生活」と定義されている。

(清水 麗子)



◆ 外部連携 ◆



防災シンポジウム風景

- ・ 一月五日
ボランティア協会 新年互礼会参加
- ・ 三月七日
羽曳野市立高鷺北幼稚園お別れ会参加
- ・ 四月十三日
eトコ 十一周年感謝祭参加
- ・ 五月二十六日
防災シンポジウム参加
大規模災害をリアルに考える
「要援護者の視点から」

…事務局より…

- ★ 理事会・総会 開催状況
・ 第一回定例理事会
平成三十一年二月二日
- ★ 第二回理事会 開催予定
令和元年八月三日
- ・ 総会 開催予定
令和元年八月三日
- ★ ふくてっくのホームページが
新しくなりました。
- ★ 年会費ご準備のお願い
令和元年七月から
新年度に入ります。
年会費のご準備をお願いします。



NPO 法人ふくてっくとは・・・

ふくてっくには、建築・医療・福祉分野の有資格その他、多岐に亘る専門職が参加しており、お互いの専門領域における見識と誇りを大切にしつつ、相互の研鑽しあう機会を育んでいます。キーワードは「生活者の視点、当たり前の感覚です。」是非あなたも仲間に入って、自らの人生を耕しませんか。一度、定例会(原則：毎月第1土曜日、13:30～)にご参加ください。定例会では、会員の活動報告や講師を招いての学習会等を行っています。正会員以外の方が定例会に参加される場合は、参加費 500 円です。

*会費：入会金/無料

：年会費/正会員 10,000 円、学生会員 3,000 円、通信会員 500 円

*連絡先：TEL 06-6614-6800

ホームページ <http://fukutech.sakura.ne.jp/>

メールアドレス mail@fukutech.sakura.ne.jp

ふくしとは
くらしを守る
てくにつく
つよーいみかたの
くろーと仲間